
~ 希望 ~

九是

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

〜希望〜

【Nコード】

N5370U

【作者名】

九是

【あらすじ】

今から話す物語は少し昔の話。

そしてこの物語はある人達の人生を描いた話。

その人たちは今を一生懸命生きていた。

空回りしたり、無駄なこととしていたかもしれない。

でも私は思う。

その人たちの人生は美しかったと・・・。

勿論全てが美しいわけではない

それでも貴方達に知って欲しい・・・

その人たちが何を思っ、何を感じて生きていたか。

それでは話しましょう・・・

その人たちの美しい人生を・・・

この物語はフィクションです

実際の人物、団体、事件とは一切関係ありません。

プロローグ

少し前まで俺は思っていた

こんな人生意味なんてあるのか？

いや、ない 人生は楽しいことだけじゃない。

辛いことや哀しいことのほうがよっぽど多い。

別に全員がそうと言ってる訳ではない。

成功した奴、なにもかも上手くいく奴。

こういうやつも沢山いる。

だからと言ってこの世界が素晴らしいとは限らない。

こんな世界意味なんてない、消えてなくなればいい・・・と
思っていた。

でも・・・

今は違う。

なぜ違うか？そこまでは分からない。

けど言える。

今の俺にとって人生とは最高だ。

夏

ああ、暑い・・・溶ける。

さすがは7月だな。

40 あるんじゃないかと思うくらいだ。

俺はあまりにも暑かったから近くにあった自動販売機で炭酸ジュースを買った。

ペットボトルではなく缶を買う。

空けたときのプシュッて音が爽快だ。

俺は買ったジュースを飲み干してゴミ箱に捨てたあと右手に雑巾を入れた桶と左手に花を持って足を動かす。

石階段を上り、砂利の上を数歩歩いた場所にそれはある。

そのの周りには多くの雑草や花が生えていた。

「すっげえな・・・」

俺はあまりにも草が多く、そう呟いた。

俺はその大量の草を抜き取り、さっぱりしたあとそれに桶に貯めた水をかけてやる。

「気持ちいいか？」

俺は笑いながらそう言った。

水をかけた後、雑巾で丁寧に拭き、線香に火を着けて、持っていた花を添えて手を合わせる。

「久しぶり、父さん、母さん。あれから長い時間が経ったよ、俺もう18歳なんだぜ」

「つまり3年ぶりの墓参りなんだ。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5370u/>

～希望～

2011年10月9日09時23分発行